

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

(1)時刻モードのとき、**③**ボタンを押します。
→現在時刻の「秒」が点滅します。

(2)秒合わせ…時報に合わせて**⑧**ボタンを押します。
→「00秒」からスタートします。

秒が40~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
(時報は「時報サービス117番」が便利です。)

(3)時・分・年・月・日セット
a. 「秒」が点滅しているとき、**③**ボタンを押すごとに、以後「時→分→年→月→日→秒」の順で点滅が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。
b. セット箇所を選びましたら、**⑧**ボタンを押します。
→**⑧**ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。

上記 a、b の操作を繰り返して現在時刻を合わせます。
※「時」セットのとき、午前(A)/午後(P)にご注意ください。
※「年」は、1995~2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日(時刻モードで表示)が算出されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4)すべてのセットが終わりましたら、**③**ボタンを押して点滅を止めます。
※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。

操作のしくみと表示の見方

時刻モード
時刻モードのとき、**⑧**ボタンを押すごとにモード(表示)が切り替わります。

時刻モード
★ライト点灯 **⑧**ボタンを押すと、約2秒間文字板が点灯します。
★12/24時間制表示切替 **⑧**ボタンを押すごとに、12時間制表示(午前A/午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

★曜日の見方
12時間制表示のとき、曜日が表示されます。
日:SU 月:MO 火:TU 水:WE
木:TH 金:FR 土:SA
(24時間制表示のときは「G」を表示します。)

アラームモード
アラーム時刻

タイマーモード
タイマー時間

ストップウォッチモード
計測値

ライト点灯について

どのモードのときでも、**⑧**ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。
(このとき文字板のアニメ表示が動きまわります)
※発光しているときにもう一度**⑧**ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。
※アニメ表示には3種類あり、ボタンを押すタイミングで変わります。ただし、セット中(表示点滅)はアニメ表示は行いません。

＜ご注意＞
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これは発光の際のELパネルの振動音であり、異常ではありません。

製品仕様

水晶振動周波数: 32,768Hz
基本機能: 日・曜日、時・分・秒、午前A/午後P/24時間制表示、フルオートカレンダー (1995~2039年)

＜アラーム機能＞
時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間
時報 毎正時に電子音で報時

＜タイマー機能＞
残り時間5分/0分時に電子音とライトで報知
セット単位=分 セット範囲=60分 計測単位=1秒
計測範囲=23時間59分59秒 (24時間計)

＜ストップウォッチ機能＞
計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒 (24時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、アラート計測、1・2着同時計測

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、EL (エレクトロルミネッセンス) バックライト点灯
表示方式: FE型液晶デジタル表示
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
常温携帯精度: 平均月差±15秒以内
使用電池: CR-1220 (電池別送販売) 電池寿命: 約15ヶ月 (電子音20秒間/日、ライト2秒間/日、およびタイマー1回/週使用した場合)
●ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。
・1日あたりライト6秒間使用→約1年
・1日あたりライト10秒間使用→約9ヶ月

アラームの使い方

アラームは、分単位でセットできます。セットした時間になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻をセットする
(1)アラームモードのとき、**③**ボタンを押します。
→アラーム「ON」となり、アラーム時刻の「時」が点滅します。
(2)**⑧**ボタンを押して「時」を合わせます。
※押し続けると早く進みます。

このとき、「時」の午前(A)/午後(P)にご注意ください。
なお、基本時刻を24時間制にしておくと、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

(3)「時」セット後、**⑧**ボタンを押します。→「分」が点滅します。
※「時」セットと同様に、**⑧**ボタンを押して「分」を合わせます。

(4)「分」セット後、**⑧**ボタンを押して点滅を止めます。
※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報の「ON」または「OFF」設定のしかた
アラームモードのときに、**⑧**ボタンを押すごとに、ALM、SIGの右側にそれぞれ「**■**」マークが点灯/不点灯を繰り返します。
※マークが点灯しているとON、点灯していないとOFFとなります。

●アラーム音を試しに聞く (デモアラーム)
アラームモードのときに、**⑧**ボタンを約1~2秒間押し続けます。
→**⑧**ボタンを押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

●鳴っている電子音を止めるには
A/B/C/Dボタンのいずれか1つを押します。

●自動復帰…アラームモードのまま、2~3分間ボタン操作を行わないと、自動的に時刻モードに戻ります。

タイマーの使い方

タイマーは、1分単位で最大60分までセットでき、1秒単位で減算計測を行いません。残り時間が0分になると10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせてくれます。

●タイマー時間をセットする
(1)タイマーモードのとき、**③**ボタンを押します。
→タイマー時間の「分」が点滅します。
(2)**⑧**ボタンを押して「分」を進めます。
※押し続けると早く進みます。
(3)セット後、**⑧**ボタンを押して点滅を止めます。
※点滅表示のまま2~3分間ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。

●タイマーの使い方 (減算計測のしかた)
タイマーモードのときに、**⑧**ボタンを押します。
→**⑧**ボタンを押すと計測がスタートします。
★計測を一時的に中断するには、**⑧**ボタンを押します。もう一度**⑧**ボタンを押すとその時点から計測を再開します。
★「タイムアップ後」または「計測中断後」**⑧**ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。

残り時間が5分、および0分になると、電子音とライトで知らせてくれます

★減算計測中の表示について

残り時間が5分を超えるとき	5分以下るとき	タイムアップ時
FINISH 5MIN START	FINISH 5MIN START	FINISH 5MIN START

●自動復帰…タイマーモードのまま、2~3分間ボタン操作を行わない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0:00に戻って計測し続けます。)

●計測のしかた
ストップウォッチモードのとき、**③**ボタンを押します。
→**⑧**ボタンを押すと計測が開始します。

★計測を止めるには、**⑧**ボタンを押します。また、もう一度**⑧**ボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)

★計測中に**⑧**ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※計測値を0に戻す(リセット)には、計測終了後**⑧**ボタンを押します。

★通常計測
スタート → ストップ → リセット

★スプリットタイム (途中経過時間) の計測
スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

★1・2着同時計測
スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット (1着タイム表示)

●自動復帰…ストップウォッチモードのまま、2~3分間ボタン操作を行わない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。